

# 「高落札率と一位不動の入札結果は認められない」と主張 消防組合議会が（仮称）消防本部・上越北消防署庁舎新築工事契約案を審議

（仮称）消防本部・上越北消防署庁舎新築工事の入札結果を受けて、上越地域消防事務組合議会の臨時会が先月29日、開かれまし  
た。議題は3件の工事請負契約の締結についてです。いずれも可決されました。

既報のように、この工事は庁舎新築工事（本体）、電気設備工事、機械設備工事の3つに分離し入札にかけられました。今回の入札事務は上越市が消防事務組合から委託を受けて行いました。

入札の結果、本体は99・7%という高落札率で加賀田・田中・中田共同企業が落札。機械設備工事も高菱・セイコースミダ・関原共同企業が96・8%で落札しました。電



気設備工事は入札が3回行われたものの、不調に終わり、3回とも最低価格を入れた田辺・城東共同企業体と随意契約（契約額は予定価格の99・5%）を結びました。

議案の審査の中で私は、新聞などで報道されている成田空港などの舗装工事での談合事件を例に、高落札率となった場合、公取委が全容解明に向けて担当者から事情を聞いていることを紹介、今回は調査したかと質問しました。

これに対して消防組合から委託を受けた上越市の担当者は工事内訳書を提出してもらい、そこでちゃんと積算されているから落札率が高くなっても問題はなく、調査もしていないと答えました。

また、電気設備工事入札については、最低価格入札者が毎回同じくなる「一位不動」が起きていることを私が指摘、「これはオンブズマンなどが談合の状況証拠としているものだ。認められない」とのべました。

これに対して上越市の担当者は「企業努力の結果」だとして当然視しました。いつか時間をかけて論戦しておく必要がありますね。このままだと入札、契約制度の民主化は進みません。

採決にあたり、私は、高落札率と「一位不動」の電気設備工事の

契約に反対しました。

## 「新政」が解散、 新たに2会派誕生

会派「新政」（近藤彰治代表）が3月31日付けで解散しました。

同会派は、いまの上越市議会の中では最大会派でした。「新政」の解散に伴い、新たに8人の会派「輝」（かがやき・栗田英明代表）と構成員が3人の「市民クラブ」（近藤彰治代表）の2会派が誕生しました。解散などの背景はよくわかりませんが、「市民クラブ」を結成した3人は3月議会で（仮称）上越市体操アリーナ建設関連予算を削減し、予算の組み替え、再提出を求めています。

議会は5月に任期の折り返しを迎え、議長、副議長、常任委員長などの議会人事が行われる見込みです。それに向かって、新たな動きが出てくるかもしれません。



写真はアズマイチゲ。安塚区にて3日、撮影。



【ヒメヤシャブシ】カバノキ科の落葉小高木。漢字で「姫夜叉五倍子」と書きます。木の枝からミミズがぶら下がっているような感じになっているのが雄花です。花言葉は「忍耐」「不屈の心」など。面白いですね。

## 28日に「山菜料理を楽しむ、政治を語る会」

恒例となった「山菜料理を楽しむ、政治を語る会」は28日の午後1時半からです。会場はいつもの吉川多目的集会場です。

今年も日本共産党議員団のメンバー全員が参加する予定で、市議会や国政などの報告をします。もちろん、山菜料理もたっぷり食べることができます。会費は1000円。参加ご希望の方は25日までに私に連絡を。

写真は昨年の山菜料理を楽しむ会のときのものです。



はしづめ法一の  
活動レポート

No.1852 2018.4.8

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索



# 春よ来い

## 第五〇〇回 九四歳の誕生日

母にとっては、おそらく生まれて初めてだったと思います。誕生日らしいご馳走と祝いのケーキを用意してもらったのは。

母は一九二四年（大正一三）三月二十七日に旧東頸城郡旭村に生まれ、先日、満九四歳に到達しました。

誕生日を迎える二〇日ほど前のこと、妻が母と一緒にどこかでご馳走を食べようよ、と提案してくれました。これまで、母の誕生日に花を贈ったことがあっても、どこかへ連れて行った記憶はありません。私は、すぐに賛成しました。

この話は妻を通して柏崎の義兄などにも伝わり、地元の宿泊施設、スカイトピア遊ランドに泊まって、祝いの会をすることが決まりました。義兄からはケーキも用意するようにと、お金までもらいました。

じつは、母の他に、三月生まれの者が私を含めて三人もいて、これら三人の祝いもみんな一緒にやりましょうということになったのです。そして、祝いの会は母の誕生日、二七日に設定しました。

さて、当日です。妻と母を私の車に乗せて会場となるスカイトピア遊ランドが近づいたとき、急に蛍場の前にある山々を母に見せたくなりました。

車を尾神のバス停付近まで走らせると、母や私が三十数年間住み、親しんだ山々が見えます。雪解けが進んで山はだも見え、ずいぶん春らしい景色になっていました。私は車の窓を開け、蛍場の山々が見えるようにしました。「見たかね」と母に聞くと、母はゆつくりとうなずきました。

祝いの会が始まったのは午後五時半過ぎでした。みんなの前のテーブルには、フキの天ぷら、茶碗蒸し、鰯（たら）のムニエルなどが次々と出てきました。母は食欲旺盛で、ほとんど箸を休めることなく、食べ

続けました。その様子を見ていた義兄などからは、「たくさん食べないと長生きできないね」という声が聞こえてきました。

柏崎と吉川では、暮らしの中で使う言葉がずいぶん違います。尾神のしだれ桜が話題になった時、誰かが「おめさん」と言ったので、「こっちは『おまん』だよ」と言いました。また、フキノトウの天ぷらを見ながら、柏崎の人たちが「フキント」と呼んだところ、妻が「うちのばあちゃんはずいぶんだよね。フーキントの方がやさしい感じがする」と言いました。言葉にはそれぞれ味がありますね。

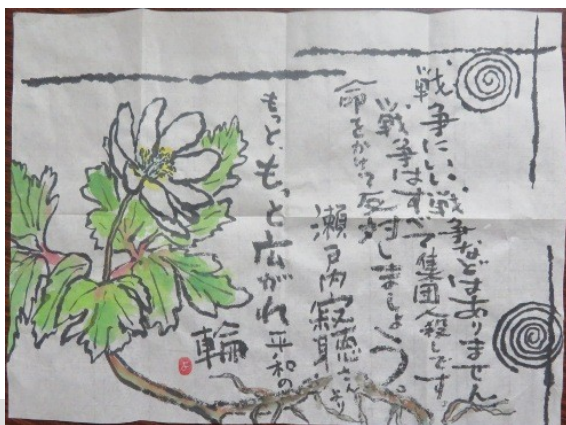
じつは、会が始まる前、私は近くの土手でフキノトウを一個だけ採ってきていました。母が天ぷらを食べようとしたとき、採ったばかりのフキノトウを鼻のそばに近づけると、「あー、いい匂いだ」と言っ母は喜びました。誰だか忘れましたが、「ばあちゃん、フキの香りかばシャキツとして、山菜採りに行くというんじゃない」という声も出ました。

この日は山菜採りの話で盛り上がりしました。とくに昔話。妻が、「ばあちゃん、すごんだよ。子どもをおぶって、袋を持って、ウド採りに行ったんだから」と昔のことを披露すると、母は笑顔になりました。

笑ったのは、柏崎の義兄が母に「ばあちゃん、いくつになったか」と質問したときのこと。母はこう答えたのです。「わすんた」。多分、冗談で言ったのでしょう。

会の最後、小浜屋さんで作ってもらったケーキをみんなでいただきました。ただ、九四歳の場合、ケーキにロウソクを何本立てたらいいか誰かわからず、用意されていた一五本のロウソクを全部立てました。どうあれ、会が終わって、母は言ってくれました、「いかったあ」と。

※おかげ様で、「春よ来い」は今号で500回になりました。これからも応援、よろしくお願いします。



【ジャンボ絵手紙】先週の木曜日、高田のYさんから絵手紙が来ました。ずいぶん久しぶりです。大きさは縦25センチ、横33センチというジャンボ絵手紙でした。Yさんからは2枚の絵が届き、そのうちの1枚には私の大好きなキクザキイチゲが描かれていました。相変わらず、素敵な絵手紙です。

## 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

|        | 3月28日(水) | 4月4日(水)  |
|--------|----------|----------|
| 上越南消防署 | 0. 0 4 3 | 0. 0 4 3 |
| 上越北消防署 | 0. 0 5 3 | 0. 0 4 7 |
| 新井消防署  | 0. 0 5 3 | 0. 0 4 7 |
| 頸北消防署  | 0. 0 4 3 | 0. 0 5 7 |
| 頸南消防署  | 0. 0 5 7 | 0. 0 5 3 |
| 東頸消防署  | 0. 0 5 0 | 0. 0 4 3 |
| 高士分遣所  | 0. 0 5 0 | 0. 0 4 7 |
| 名立分遣所  | 0. 0 5 0 | 0. 0 5 0 |

【大口満絵画展】元上越高校の教師、大口満さんの絵画展（会場は高田の大島画廊）を観てきました。この絵画展、いつも、厳しい冬を振り返り、春を迎えた喜びを感じることができます。

展示された多くの絵の中で、海辺を描いた大作も素敵でしたが、山間部を蛇行する冷たい川の流れ（写真）、水彩でとらえた旧直江津銀行の建物の絵がとても気に入りました。今回は制作過程を伝える展示もいくつかありました。作品を鑑賞する側からいえば、作品が出来上がる前の段階が見えることで、作品をより豊かに、かつ親しみを持って鑑賞できるようになります。

絵画展はきょう、4月8日までです。みなさんもぜひお出かけください。

